

好きです！ 山中

平成28年4月25日 文責：校長 池田幸春

今やるべきことは、やれることは。

「熊本地震」発生から10日が経ちました。日毎に被害の大きさが明らかになり、あらためて自然災害の脅威を感じます。県内多くの小中学校で授業再開ができず、22日現在でおよそ75%の児童生徒が授業を受けることができていない状況だそうです。そのような中、熊本市の小学校で、一足早く学校を再開した新聞記事に、弾ける子どもたちの笑顔の写真が掲載され、ほっとしました。

山鹿市では、被災して山鹿市内に避難している児童生徒を一時的でも学校で受け入れる取組を積極的に行っています。本校でも、昨日2名の生徒を受け入れました。今、山鹿市や本校でやれる大切なことだと思います。購買部にあるリサイクルの制服がすごく助かりました。また、先日は太鼓部が「負けるな！くまもと」の横断幕のもとで元気を届ける演奏をしたり、市内中学校生徒会共同で支援できることの話合いを進めたりしています。

一方で、「水道が使える」「食事ができる」「トイレが使える」「学校に行ける」の当たり前と思う生活に感謝し、今を一生懸命に生きることが本校生徒としてやるべき一番のことかと思えます。どうぞよろしくお願ひします。



「好きです！山中」 その2

家庭訪問お世話になっています。話のなかで、被災した職員を気遣っていただいたり、防災教育の取組や日々の気づきに御意見をいただいたり心から感謝します。その時間、学校では「学力充実タイム」と「体育大会に向けた活動」を行っています。学習に静かに集中する姿と、元気に声をだし、躍動する姿があり、まさに動と静を感じる時間です。また、5団に分かれ、体操や行進に、3年生や応援リーダーが活躍する姿があり、山鹿中の伝統の力を感じます。

